

事業名	特定疾患対策費			調査番号	62
細事業名	難病患者等ホームヘルパー養成研修事業	財務コード	091408		
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 母子保健・難病 担当 (内線)	3521			

I 事業の概要

実施期間	始期 H9 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>難病患者等を対象とするホームヘルプサービスを提供する者</td> <td>難病患者等に係る必要な知識、技能の習得を図る</td> <td>難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	難病患者等を対象とするホームヘルプサービスを提供する者	難病患者等に係る必要な知識、技能の習得を図る	難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
難病患者等を対象とするホームヘルプサービスを提供する者	難病患者等に係る必要な知識、技能の習得を図る	難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供					
内容	<p>○研修会の開催 年1回 ○内容 ホームヘルパー研修の終了者又は履修中の者及び介護福祉士等を対象とし、ホームヘルパー養成研修テキストに基づく課程として「難病入門程度」の講義を実施する。</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	研修会の参加者	目標	819	849	930	960	990	1,005	1,035
		実績(見込)	857	901	949	961	975	988	
		達成率	104.6	106.1	102.0	100.1	98.5	98.3	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		6	18	16	18	18	44	44	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	研修会について、当初の計画どおり実施している。
成果指標	b		難病は、原因が不明で治療法が確立されておらず、経過が慢性にわたり介護の負担も多いことなどから、患者に対する支援は、医学的専門知識を有し理解することが重要である。本事業により、第一線で活躍する専門医師や医療スタッフによる研修を聴講することにより、普段の業務では得られない知識が会得され、受講者の資質向上につながっており、意図した成果を十分に上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	従来から第一線で活躍する専門家を講師に招き研修を行っており、現在より大幅な成果向上を望むことは困難と思われる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れおらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	現状でも質の高い研修を提供しており、経費についても講師謝金等と会場費など必要最低限のコストで実施している。また、研修会の周知についても、県内の各介護施設へ個別に案内を送付するなど、遺漏のないよう配慮している。		
見直しの必要性	無	上記のとおり、最低限のコストで最大の成果を発揮するよう努めているが、受講者からのアンケートを常に実施し、ニーズに合った研修を提供していく。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。